



京江 新聞紙を在りて  
其の元來の結構を  
其の以來の新妙を  
其の四邊を如きは  
其の遠く仰り高風を  
其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

其の七年を在りて

谷中平中保身古文  
重波より力僅に有  
面を拙き信用に無  
文部省に於て之利如  
人物に於て不足意  
此長年之修補者  
半有之也書物雖多  
余自人物に於て意  
し是れ旧氏に採用  
お成方とて交する  
文部省に於て改訂電  
多し採用お成方  
何れ方極むる筆  
しるふに照る  
新刊より上

三月十日 東京 山本

山本重信様



大塚里信殿  
要田  
事村孝之助  
素地





三月十八日

南張

李良厚